

『子どもの未来は まちの未来』

～青少年育成ビジョン～



松山白鷺ライオンズクラブ



子どもの未来は、まちの未来

▶次代を担う青少年の育成は社会全体の責務である

今日、我が国は少子化・人口減少社会という人口構造の急激な変化の下、家庭、学校、職場、地域、情報・消費の場など青少年を取り巻く環境にも大きな影響が及んでいます。これらの社会の変化は、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む若者の増加といった、よい影響をもたらしている一方で、青少年の犯罪、薬物乱用、自殺、虐待など様々な問題を深刻化させ、新たに大きな社会的問題となっています。

このような社会の変化を的確にとらえ、21世紀を生きる、21世紀の我が国社会を形成する青少年を健全に育成するには、学校・家庭・社会が連携をとりながら、その役割を認識し、子どもたちを育てていく環境を整えていく必要があります。

- 青少年期は、人としての根を張り、幹を伸ばし、人格の基礎を形成していく大切な時期
- 青少年には、成長していく上で家族や社会の支援が欠かせない
- 青少年は、次代の担い手であり、未来への希望を託す貴重な存在

「青少年は地域社会から育む」という観点に立って、地域社会の構成員である家庭、学校、地域住民、企業、民間団体、関係機関が、開かれた関係を構築し、地域で一体感をもった自主的取組を今こそ促進しなければならないと考えます。

青少年育成運動に取り組んでいくにあたって、この『子どもの未来は まちの未来』を今後の新たな運動指針にしていきたいと思います。

青少年をめぐる問題に関する基本認識

子どもに対する基本的なしつけがおろそかになっていると同時に、地域社会での集団生活体験をする機会が少なくなっています。

この事は、子どもたちが幼いころから多様な人間関係を経験する機会が減っている事に他なりません。私達は、地域全体で子どもを育てるという認識をもち、社会環境を整えていかななくてはなりません。

基本的な考え方

子育て支援とは、決して、単純に「楽に子育てをしてもらう」ことでもなく、保護者の子育ての負担を軽くするものでもありません。本当の子育て支援とは、「子育てって楽しいな」と思ってもらえるようにすることです。

*人口減少社会に於ける地域のあり方

- ◇子どもの未来が輝く環境づくり…夢と希望をもって住みたくするような地域に
していく為のまちづくり
- ◇お互いに支え合う環境づくり…安心して子どもを育てられる地域コミュニティづくりと
子育て支援制度

*子どもたちを、地域で育む環境づくり

- ◇青少年を育成する環境づくり…青少年育成に関する活動及び支援
(スポーツ・ボランティア等)
- ◇青少年を守る安全な環境づくり…まちで育み、まちで守る地域コミュニティへの
活動参加及び支援

基本構想

1. 青少年を育成する環境づくり

地域の一定のエリア内に存在する家庭、学校、地域住民、企業、民間団体、関係機関がネットワークを構築し、連帯感のある「まとまり」をかたちづくっていくという視点が必要です。このような新たな「地域コミュニティ」を基盤として、青少年が多様な人間関係や自然体験・社会体験等を通じて、社会性や主体性を習得し、生きがい、個性を伸ばせていけるような多様な活動の場を提供していくことが効果的であると思います。

- ◇青少年の居場所やスポーツ・文化等多様な活動の機会を提供する
- ◇地域社会での、職業体験、高齢者との交流、ボランティア体験等の
体験学習を充実する。
- ◇子どもの社会性や道徳心を育む、地域住民による自主的なプログラムの
普及促進を図る。
- ◇地域の河川、公園等を利用しての自然体験の機会を計画的に実施する。
- ◇子どもから高齢者まであらゆる年齢層の人が、技術・能力に応じて様々な
スポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・定着化を図る。
- ◇子どもを取り巻く環境が、優しく思いやりのある社会づくり。

2. 青少年を守る環境づくり

多様な人間関係等を経験できる活動の場を整備充実していくとともに、非行等問題行動を防止する社会の抑制機能と青少年が自己確立のできる社会を再構築していくことが重要であると思われます。この観点からも、地域に根ざした取組を促進していくことが重要であり、社会環境の改善、青少年問題への早期対応能力の向上等に向け、地域ぐるみの対応を充実していかなければならないと思います。

- ◇関係機関が連携して、薬物乱用防止運動の展開
- ◇街頭指導等を行なう専門的機能を強化・支援する。
- ◇子どもたちに、命の大切さを学べる機会をつくる。



1.コミュニティを通じて



学習意欲の低下や、不登校、いじめの問題などの背景には、学校だけの問題ではなく家庭、地域など社会全体に本来持っているべき教育力の低下そのものが原因であるように思います。すなわち大人社会があるべき姿、方向性を見失ってしまったのです。その本質を問わずして、その場しのぎの制度改革には限界があります。国主導の統制型システムでは、到底機能できない時代がきたように思います。今日の豊かさや、国の発展の大きな要素になったのも事実ですが高度成長期の中でなにもかも国や行政に依存する国民性になってしまったようにも思います。

この国の主体者は自分たちなのだという、意識や責任感が希薄になると共に、豊かさのなかで「幸福」を「快樂」、「自由」を「勝手気まま」、「人権」を「独りよがり」にはきちがえた人たちを、たくさん生み出してきたのではないのでしょうか。必然的に地域のみならず、家庭においても人と人との関わりが少なくなるのは当然の結果なのです。

しかし、人間が人間らしくあることは、人と人とのコミュニケーションの中でしか得られないように思います。人に認められる幸福感や、人に関わる充足感などがそうであるように、人と人との関わりでしか本当の幸せは求められないと考えます。少々の対立や葛藤があろうが、それを乗り越えながらも自分自身を進化させていける、これがコミュニティのもつ教育力であると思います。

いま、癒しを求める子どもたちの声に耳を傾けながら粘り強く、コミュニティを復興させることが私たちの大人の大きな使命だと思います。

2.ボランティアを通じて



社会や人の役に立つ事によって、自分自身が元気になることや、生きがいが生まれることを知ってもらう。

◇ボランティア活動の推進

子ども達のボランティア活動など多様で豊富な体験活動の機会と場を積極的に提供し、生きる力の核となる豊かな人間性(自立心、自己抑制力、責任感、他人を思いやる心)を育てていくことが必要と考えます。

ボランティア活動は青少年自身が社会や人に必要とされる経験をすることで人格の発達を促すとともに、社会参加の過程を通じて社会の一員としての自覚や、他人を思いやる心を育むなど、青少年の成長に不可欠な活動です。

また、高齢化社会にあって、お互いが支えあう社会を確立するためにも、青少年の段階からボランティア活動に参加する機会を提供することが必要なのです。

◇自然とのふれあい

青少年にとっての自然体験活動は、自然の厳しさや恩恵を知り、自然や生命への畏敬の念を育て、自然と調和して生きていくことの大切さを理解させる機会となります。さらに、自然の中での組織的な活動は、きまりや規律を守ること、協力することの大切さや、自ら実践し創造する態度を学ぶなど体験活動を通じ、青少年の「生きる力」が培われていきます。



松山白鷺ライオンズ

コミュニティを通じて

- セーフティスクールのワークショップ
- 挨拶・声かけ運動
- 世界平和ポスターコンテストの実施
- 次世代育成プラン・子育て支援
- 教職員の方との連携・ライオンズクエストプログラムの活用
- 児童保護施設等への訪問・助成
- 地域社会に貢献する青少年を表彰
- 青少年育成に取り組む団体への協力や支援
- 地域住民と子ども達の交流会（親子キャンプ、スポーツ大会）
- 防犯看板やステッカーの配布や「安全ポケットベル」の提供



ボランティアを通じて

- We Love 石手川を体験学習
- 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭パレード
- ボーイスカウトへの助成
- NPO法人 日本ガーディアンエンジェルスへの協力
- 自然とのふれあい教室
- 小・中学校にボランティア活動のクラブを結成する為の支援
- 子ども達と学びながら遊べるイベント（ハイキング・バーベキュー等）



クラブ実施計画



スポーツを通じて

- ライオンズカップジュニア空手道選手権大会の開催
- 松山白鷺ライオンズカップのスポーツ大会を推進
- スポーツ観戦（愛媛FC・四国アイランドリーグ・プロ野球）
- ヤクルトスワローズや愛媛マンダリンパイレーツの野球教室
- 愛媛FCのサッカー教室
- ジュニアスポーツ大会への協力
- ジュニアスポーツ指導者の育成



家庭（食育）を通じて

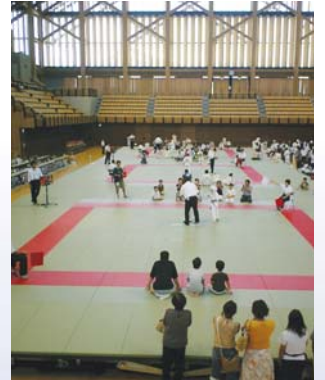
- 豊かな人間性を育むような食生活を目指す「食育」の普及
- 正しい食事マナー体験の場を提供
- 食べる事の大切さの教育（いただきますの心）
- 農作業体験（地産地消）
- 「もったいない」の心（捨てられている食料）
- 母親子育て相談会、子どもをほめる運動
- 家族揃って会話のある食事のすすめ
- キッズISO14000Sに家族での取り組み



3.スポーツを通じて

現在、日本の社会では、いじめ・不登校・校内暴力・学級崩壊における凶悪な少年犯罪の続発など、教育をめぐる現状は極めて深刻です。その要因としては、教育現場における明確な師弟の信頼関係が崩れている事。又、インターネットやテレビゲーム等の過度の依存における慢性的な運動不足・ストレスの増加が原因の一つでもあると言われています。予てより「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言われますが、スポーツは新しいまちづくりや地域の活性化への有効な手段があります。スポーツを通じて取組む意義は、いくつもありますが、一つの効果としては、「感動」を生むことが上げられると思います。感動が生まれるまちは犯罪が起こりにくく、しかも、感動を経験すれば、子どもは大きく成長します。感動は、最も有効な教育手段の一つなのです。感動が「地域力」を育む事にも繋がっていくのではないのでしょうか。

文武両道をベースにスポーツ・武道への取り組みは、その鍛練を通じて個々に自分自身の高揚や成長がテーマとなり、心身共に健全な自信・強さを備える事に繋がり、又、礼儀・礼節を身に付け実社会の中で生きていく基礎を学び、良き友達づくり・人を思いやる心・豊かな心の人間づくりにも繋がるのではないかと思います。そして、親と子の共通テーマの触れ合いを通じて空間を共有し、共に取り組む事により一番基礎となる親子のコミュニケーションづくりにも結実していくと考えます。



4.家庭(食育)を通じて

青少年育成には学校、地域、家庭の連携が必要ですが、その基本は家庭にあります。食生活の乱れなどにより、子どもたちの健康面や精神面への悪影響が社会問題となっています。子どもの頃から「食」の安全や「農業」の重要性、「食べ物」の大切さなどについて関心を持ち自ら考える習慣を養うことが極めて重要となっています。「食育基本法」の背景として、次のように具体的に述べられています。

- ◇社会経済情勢がめまぐるしく変化し、日々忙しい生活を送る中で、人々は、毎日の「食」の大切さを忘れがちである。
- ◇「栄養の偏り」、「不規則な食事」、「肥満や生活習慣病の増加」、「過度の痩身志向」などの問題。
- ◇新たな「食」の安全上の問題。
- ◇豊かな緑と水に恵まれた自然の下で先人からはぐくまれてきた、地域の多様性と豊かな味覚や文化の香りあふれる日本の「食」が失われる危機にある。

また、食生活が変化してきた主な理由として、以下のようなことが考えられます。

- 1.簡単に準備できるパン食を朝食として取り入れるようになったこと。
- 2.塾通いやテレビの深夜番組などの影響により夜遅くまで起きているようになった結果、朝食をとらなかったり、食事の内容が不十分になったこと。
- 3.残業や子どもの塾通いなど家族のライフスタイルの変化により、コンビニエンス・ストアで24時間いつでも自分の食べたい時に、自分の好きな食べ物だけ食べられるようになった結果、個食や孤食が増加してきたこと。

このようなことから、私達自らが「食」について考え、判断する力をつけるための「食育」が必要となっているのです。この問題は大人だけでなく、次世代を担う子ども達の元気な心と身体の育成、全ての青少年の健やかな成長を願うことを目的に取り組むべき問題なのです。



私たち大人が生き生きと希望を持って生活をし、子どもや孫にその手本となる姿を見せることで、子どもたちが未来への夢を大きくもてるような社会にしていく…そのことが青少年問題の本質に重要な意味を持つことなのです。

そんな社会をつくっていくこと、そのことが、まちづくりの究極であることを私たちは深く認識しておかなければならないと思います。

いずれの時代にあっても青少年の育成は、社会が存続・発展していく上で最も重要なテーマです。今日我が国が直面しているような少子化社会にあっては、次代の担い手として一人一人の青少年が社会にとって大切な宝であり、青少年の育成は、社会の基盤であり、子どもに直接かかわっていない人々を含む社会のすべての構成員が関心を持って取り組むべき課題であります。子どもたちが、大人とともに地域の行事やスポーツ、まちづくり、ボランティア活動などを通じて、大人たちと夢や希望を共有できるようにすることが今、求められています。青少年の自己の確立をどのように助け、励ましていくかが我々の責務であると思います。

松山白鷺ライオンズクラブには、多くのPTA役員経験者が所属しています。

そのメンバーの活動時間帯も、年齢構成も幅が広いのです。その特性をいかしこの問題に取り組み、クラブ組織として、また社会の一個人としても、社会貢献の一部として深く関わっていける問題です。

青少年育成事業は、今後の運動における重要な柱の一本であると考えます。

私たちは、今後の活動を通して子どもたちに「生まれてくれてありがとう。生きていてくれてありがとう。」という思いを伝えていきましょう!

松山白鷺ライオンズクラブ

〒790-0001 松山市一番町1丁目13-5国際ホテル松山 別館2F
TEL. 089-913-1637 FAX. 089-932-3206・934-3100